

共同利用型出資金管理システム



出資業務における最近の動向

- ・信用金庫法改正により、長期間所在不明な会員に対して除名が可能となり、除名対象となる会員の厳格な管理を行うための事務負担が増加している。
- ・近年、信金業界でも出資証券のペーパーレス化（不発行化）が急速に進んでいる。
- ・近年の金融庁検査において、出資加入、脱退管理の厳格化が求められており、金庫では更なる業務のスピードアップとコスト削減が必要となっている。



共同利用型出資金管理システムの概要

共同利用型出資金管理システムとは出資の受付管理から郵便不着管理まで出資業務全般をシステムで管理するサービスです。本部・営業店における受付事務支援（新規、増口、譲渡、脱退、諸届）、所在不明会員の除名に関する事務支援、出資証券の不発行に向けた対応を支援します。



当システムの大機能

不着管理機能

① 郵便不着先登録・管理



【不着書類】

印刷業者作成の CSV データの一括取込及び手入力で登録することで、不着先を容易にシステムへ登録することが可能。不着回数、不着経過期間等のデータ保持。

② 口座取引情報の把握



【勘定系サーバ】



【口座取引情報の取得】

勘定系サーバから能動的取引の有無についてのデータを連携、保持し、不着データとマッチングすることで、除名対象会員の抽出が可能。

出資受付管理

① 受付事務支援

（新規 / 増口 / 譲受 / 譲渡 / 脱退 / 諸届）

- ・加入や脱退等の各種手続きをペーパーレス化し、本部・営業店の進捗管理を行うことで、申込から承認まで即座に行うことが可能。
- ・出資申込時に、譲受先を即時に検索できる機能を提供し、脱退者への払戻金の支払を早期化。
- ・重要印刷物として取扱う出資証券は各種手続き毎に多くの帳簿で手管理する必要がありましたがあ、システム化により出資証券不発行を実現します。

② 会員台帳等各種帳簿の自動出力

- ・ホストで保持していない脱退者や変更履歴を保有する会員台帳等をシステムにて自動出力します。（これにより法令で定める備置き閲覧に耐え得る台帳となります。）
- ・営業店で出資者情報・履歴を確認できるようにすることで、出資者からの照会にも即座に応えられるようになります。